

作目名	デルフィニウム
-----	---------

作型名	高冷地栽培
-----	-------

月 旬	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			品種
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
高標高	○ ————— △ ————— [] ————— [] —————																															ベラドンナ系					
	[] —————																																				
1年目	○ ————— △ ————— [] ————— [] —————																															リトル系					
	————— [] —————																																				
2年目	————— [] —————																																				
	○ ————— △ ————— [] —————																															ベラドンナ系					
低標高	————— [] —————																																				
	○ ————— △ —————																															リトル系 シネシス系					

○ は種 △定植 [] 収穫

○技術体系設定の前提条件

- (1) 対象地域
 - 飛騨地域
- (2) 立地条件
 - ①気象条件
 - 日当たりが良く、夏期は冷涼な気温を好む。
 - ②ほ場条件
 - 排水・保水性がよく、耕土が深い土壌を好む。滞水すると根腐れが発生し、株落ちの原因となる。好適 pHは6.0～6.5である。低 pHでは生育不良となる。
 - ③栽植株数（10a当たり）
 - 8,800株
- (3) 目標収量（10a当たり）
 - 17,000本

○施肥基準

(1)施肥基準量 (10a当たり・kg)

施肥成分	総量	基肥	追肥
窒素	24.0	18.0	6.0
りん酸	18.6	18.6	0.0
加里	16.2	16.2	0.0

【施肥設計及び施肥上の注意事項】

- 1 十分に除塩した完熟堆肥を10a当たり2t程度施用する。
- 2 施肥設計にあたっては、堆肥中の有効成分を測定し、それを施肥基準から差し引き肥料の施用量を決定するとともに、土壌診断に基づき適正な土壌改良を行い、施用量を決定する。
- 3 多肥栽培すると奇形花が発生しやすくなる。